**がん遺伝子パネル検査適応チェックリスト**

1. がん遺伝子パネル検査（以下、パネル検査）に提出する検体を選んでください。

**組織検体**

おおよそ5年以内に採取され、適切に処理されたホルマリン固定のがん組織病理標本が必要です。詳細はがんゲノム外来のホームページの「検体について」を参照ください。

もし検体が不十分のときに血液検体に変更して宜しいでしょうか

**はい**　　**いいえ**

（「はい」にチェックいただいた場合、検体が不十分と判定されれば速やかに血液検体提出に変更させていただきます）

**血液検体**

現在適切ながん組織がなく、新たに採取することもできない場合、血液検体を用いたパネル検査を行います。

1. パネル検査の適応について以下のすべてに該当することをご確認ください。

**18歳以上**

**標準的な化学療法終了見込みの固形がん　または　 原発不明がんもしくは希少がん**

**PS0または1の方（軽作業ができる以上にお元気な方）**

**予後5カ月以上が見込まれる方**

**これまでに保険診療でがん遺伝子パネル検査を受けたことがない方**

**入院中の場合、受診できません**

1. 以下の注意点をご確認ください。

* 検査提出から結果説明まで約2か月間かかります。
* 検査を受けた方で実際に治療に結び付く可能性は10%程度とされています。
* 提案治療の実施場所については、紹介元のご施設で受けていただくようお願い致します。
* 提案治療が治験・臨床試験、自費治療の場合は当院で対応致します。